

日仏文化学院 パリ日本人学校



令和6年度学校だより 第2号 令和6年4月19日 発行 パリ日本人学校 校長 伊藤 博

第1学期始業式・着任式実施 ～満開の桜が祝福!～



4月9日、校庭の桜が見事な花を咲かせる中、令和6年度第1学期始業式が行われました。それに先立ち、4月から赴任した先生方の着任式がありました。小学部6年生 OTさんと、中学部3年生のIRさんが、歓迎の言葉を述べ、自分たちが感じている「パリ日の魅力」について、心をこめて伝えました。

続いて始業式では、校長から「チェンジはチャンス」という話を中心に、年度のはじめに新しい気持ちで、色々と挑戦してほしいという話をしました。

その後、3名の代表児童生徒からの作文発表がありました。どれも、新しい学期のスタートにふさわしい、立派な発表でした。続く校歌斉唱は、久しぶりにもかかわらず、体育館後方から素敵な歌声が響きました。



小学部3年 NS	小学部6年 NY	中学部3年 HW
<p>二年生をふりかえると、とくにたりなかったと思ったことが一つあります。それは、じしんをもてなかったことです。じゅぎょうのはつげんでは、みんながまちがってもだいじょうぶと言ってくれたのに、じしんをもてず小さい声になってしまいました。三年生になると新しく教科で理科と社会がふえます。音楽はリコーダーをれんしゅうするようになります。わたしは新しいことがふえるのでとてもたいへんだと思いますが、いっしょうけんめいががんばります。三年生ではじしんをもって大きな声ではつげんしたいです。また、三年生はてい学年のリーダーてきそんざいです。てい学年のみんなに、「こんな三年生になりたい」と思ってもらえるような、りっぱな三年生になれるようにがんばりたいと思います。</p>	<p>ぼくは、三年生の二学期からこのパリ日本人学校に転入し、ついに最高学年となりました。そして、これまでの経験をふり返りながら最高学年としての目標を考えました。一つ目の目標は、時間を見て正確に行動する事です。とても基本的な事ですが、五年生のころは、時間を確にんして行動する事が少なかったため、次の授業に間に合わなかった事もありました。なので、決められた時間を大切に使うという意味でも、時間を見て素早く行動できるよう頑張っていきたいです。二つ目の目標は、計画を立てる力を伸ばすことです。例えば六年生になると、たてわり班の班長などになり、休み時間中に遊びの内容を決めなければなりません。そのため、低学年の子も含め全学年が楽しめて安全な内容の遊びが準備できるよう、様々な計画が立てられるように頑張っていきたいと思います。他にも最高学年として目標は沢山ありますが、どの目標に対しても、自分がこれまで経験してきた事や、今までの六年生たちが教えてくれた事を思い出しながら、自分自身が学校教育目標の「明るく仲良くたくましく」を体現して、他の学年や先生方からもたよりにされるような六年生を目指して頑張っていきたいと思います。</p>	<p>私の中学二年生生活は、色々なことに挑戦し、たくさんのことを学んだ年でした。その中で特に学びが多かったのが、生徒会とパリ日祭実行委員を両立したり、生徒会と応援団を両立したりしていた時期です。初めは、忙しくて、「楽しい」と思いながら仕事をしていたのですが、途中から疲れていってしまい、何回か「学校を休みたい」と思ったこともありました。行事が終わって振り返った時に、それはとても残念なことだと感じました。今年度、私は中学三年生で受験生です。勉強を頑張りたいし、卒業した大好きな先輩方のように、憧れられる先輩になりたいです。パリ日での最後の行事も全力で楽しみたい。そんな、欲張りな私は、「やるときはやる。休む時は休む」という切り替えを大事にしていこうと思います。したいことをするために、皆さんもぜひ、新学期に大事にしたいことを考えてみてください。</p>

令和6年度 第52回入学式挙行 ～「あ・な・た」とチェンジはチャンス!～



4月10日、満開の桜が咲き誇る中、SM 大使、NH 理事長をはじめ、多くのご来賓、保護者の皆様のご臨席の下、第52回入学式が挙行され、小学部14名、中学部21名の新生が入学し、パリの門をくぐりました。校長からは、式辞の中で、パリ日が開校以来大事にしている「あ・な・た」(明るく・仲よく・たくましく)を心に留めてほしいこと、「チェンジはチャンス」という言葉を胸に刻んでほしいことを伝えました。

歓迎の言葉

小学部代表 6年1組 AS

一年生の皆さん、ご入学おめでとうございます。私たちはみなさんに会えるのをとても楽しみにしていました。一年生の皆さんは、これからたくさんのごことを学んでいく素晴らしい時間が待っています。新しい生活に少し不安を感じている人もいるかもしれませんが、大丈夫です。私たち六年生たちや家族、先生方、そして一緒に学ぶ友達や上級生がいつでも皆さんのことを支えてくれます。わからないことや、困っていることがあったらいつでも話してくださいね。学校では、勉強をする時間が増え、疲れてしまうこともあります。勉強だけでなく、友達と遊べる時間もたくさんあります。校庭にある遊具で遊んだり、体育館でボールを使って遊んだり、たまには静かな図書館で一緒に本を読んだり借りたりするなど、素敵な場所もたくさんあります。友達との時間を大切にすると、いざとなった時に助けがくれたり、応援してくれたりする仲間が増えて、自分に自信ができてきます。素敵な友達をたくさんつくってくださいね。また、パリ日本人学校には楽しい行事がたくさんあります。運動会やパリ日祭、パリ日発表会、ヴェルサイユ庭園へのたてわり遠足、社会見学等、どの行事もわくわくするようなどとても楽しい行事です。思いっきり楽しみながら勉強してください。そして、笑顔で元気いっぱいパリ日本人学校にみんなで行きましょう。私たちみんなはいつでもみなさんを応援しています。これから新しい学校生活と一緒に楽しんでいきましょう。一年生の皆さん、小学校での新しい生活がはじまりました。楽しいことや難しいことがたくさんありますが、それらをパリ日のみんなと一緒に乗り越えていきましょう。そして、困ったことがあっても心配はしなくても大丈夫です。そんなときには、決してあきらめず、一歩一歩進んでみてください。そうすることによって自分自身の力を信じて、夢をかなえることができると思います。

新生代表の言葉

中学部1年A組 SH

暖かな春の訪れと共に、私たちは今日、伝統あるパリ日本人学校の中学生になりました。新しい生活の始まりに不安な気持ちもありますが、「これからどんなことが待っているのだろう」という期待で胸がいっぱいです。僕は小学部の行事や学習を通してたくさんのごことを学びました。また、学級代表、児童会、たてわり班などでみんなをまとめる役を務めました。その中で僕は、児童会長を務めました。児童会長になったばかりの時、僕は何をしたらいいかわからず悩んでいましたが、生徒会長の姿を見て、みんなの意見のまとめ方などを学びました。初めて生徒会と児童会の共同で話し合いをした時、僕は生徒会長とはたくさんの人から頼りにされる存在だと気づきました。僕は心の底から「カッコいいな」と思いました。今日から僕も中学生の仲間入りです。先輩方から学び、友だちや小学部の皆さんにも頼りにされる存在になれるように頑張ります。また、中学部の学習では、数学、理科など、小学部とは大きく変わり難くなります。中間テストや期末テストもあります。日々しっかりと授業に取り組み、わからないところがあれば先生方にどんどん質問をしていき、力を伸ばしていきたいと思っています。そして、クラスメイトとも、毎日の学校生活の中でこれまで以上に協力し、助け合い、時にはぶつかりながら切磋琢磨して成長していこうと思います。悩んだり立ち止まったりすることがあるかもしれませんが、そんな時は先輩方、先生方保護者の皆様、どうぞ厳しく暖かいご指導をよろしくお願いしたいと思います。最後になりましたが、本日は私たちの入学にあたり、このような式を実施してくださりありがとうございます。

歓迎の言葉

中学部代表 3年A組 ON

新中学一年生の皆さん、ご入学おめでとうございます。私たち二年生・三年生は皆さんがここ、パリ日本人学校中学部の一員になることを楽しみに待っていました。初めての中学校生活。勉強が難しくなるのではないかと、中学部にうまくなじめるのか等、不安な事もたくさんあると思います。今日は、皆さんの不安を少しでも減らせるように、私が中学部について、簡単に紹介します。中学部は小学部と違い、学年ごとではなく、学部で活動をする事が多く、学年を超えて仲が良かったり、誰でもすぐに馴染みやすい雰囲気が特徴です。勉強は確かに小学校の頃より難しくはなりますが、先生方との関係も良好で、わからないところがあればすぐに質問して解決することが出来ます。また授業では、教科ごとに担当の先生がおり、より詳しいところまで教えてもらうことができるため、とても面白いです。五月頃に予定されている宿泊学習では、中学部全員で「アルザス地方」に行きます。ここでは異学年と合同で係の仕事をしたり、レクを楽しんだりするため、仲良くなれる大きな機会でもあります。そして、仲良くなれた仲間と一緒に運動会をつくりあげていきます。またパリ日祭では、実行委員を中心に、一から内容を考え、仕上げた出し物を中学部全員で披露します。小学部のころとは違った、行事全体を支える大きな係の仕事や、準備期間など、大変なことも多い行事ではありますが、それをやりきった時の達成感はとても大きいです。他にも、音楽祭や青少年の主張大会、生徒会主催の親睦会など、中学部ならではの行事もあります。どうですか、少し不安は減りましたか。私は中学一年生の頃、担任の先生に「中学校生活では自分から楽しみを見つけて楽しむことが大切だ」と言われたことがあります。中学生になると、定期テストや生徒会活動など、大変なこと、やらなければならないことが増えて辛くなる時期もあると思います。そんなときこそぜひ、毎日の中に楽しみを見つけてながら、笑顔溢れる楽しい中学校生活をおくってほしいです。そして、私たち二年生、三年生と一緒に素敵な中学部に行きましょう。

6年生ありがとう! ～頼れるお兄さん・お姉さん～

6年生が、入学式の日から、小学1年生をサポートしています。式の前にはトイレを案内し、翌日からは、登校後に、持ち物整理のお手伝いをしています。1年生も安心してスタートが切れています。ありがとう6年生。